

- ① 氏神の宇護と、狛犬様の役目 地所の神様
- ② 導きのお狐様と満月 御褒美
- ③ 満月と病氣と携帯 現代 簡単邪霊
- ④ 亡き人の想 岡本逸郎
- ⑤ 夢・五つ頭の黒龍様と牛頭天王
- ⑥ 神様が、知らせてくれる 人との別
鯖の味噌煮
- ⑦ 紫色に藤の色 梅の花 天神様
病気を 知らせてくれる 神よりの信者
- ⑧ 小さな夢 今は亡き姑への思いと
- ⑨ 四十九日への後悔
- ⑩ 満月と熱心な、行者様
- ⑪ 生雲の想いとみせた姿
- ⑫ 不思議な香り 神様一筋十五年
- ⑬ 令和6年4月20日
小国神社 親子の因縁 人との出会い
- ⑭ 豊川稲荷 私達を、むかえてくれた
- ⑮ 青岸度寺 道安内の星
- ⑯ お金と商売 神様を利用する心
- ⑰ 雲より 満月がまえ
- ⑱ 和田政子体験談
- ⑲ 谷口真代様

氏神様の守護と狛犬様の役目 地所の神様

平成七年十一月十六日

ある日の事がガレーチにある冷蔵庫のモータの音が人の唸る声に聞こえると言うので母が帰った後耳を澄ましてみると、夜の八時ぐらいから一層音が激しくなり、一週間位続き、私は魂の神様に何うこ事になり、お願いを致しました、その神様の降臨になり、私の心の中の声が聞こえたとの事。神様の道を歩きはから、もう神は、お前を助ける事が出来めと答えられました、氏神様は十二時を過ぎると狛犬様になり、氏子の家々の声を聞きにいくとの事。その時、お前の声が聞えた。神の使をしておるのに、その時の心の中は、人と言うものは、人生においては、仕事、子供 親の事などこのまま、仕事をしなから、自然にもとなる人も居るのでしょうね。その方が楽になるのかなと色々な想いで、呟いていた声が聞えて、ウーと言う声は、其方がが唸る声と教えて致しました。

私は、その時初めて、氏神は、朝には氏子の願い事

昼から来られる方 神様は休む事なく、聞いて致します 夜中には狛犬にのり私達の悩み事と、自分の心の中迄、見抜見通と仰ります。神様からのお諭しで、誰にも、話しをした事もない自分の事を、いつも、見て致している事に感謝に尽ません。自分の心を元にもどし地所の神様に懺悔 音が鳴ると、もう、想いませんと、堪能しなさい、そうして一ヶ月がくる頃には、心の声のなくなりました。

不思議な事です。この事があり、疲れれ時考える事悩む事、すべて氏神様に会いにゆき神様に、思いの胸中を聞いて致す事にしました。有難い事です。

教訓一人で悩まない 神様へ

西暦 2024 年 3 月 27 日

導きのお狐様と満月 御褒美

ひたすら 神様 仏様一筋二十年想う日々

和田政子さん 私の所えこられて神仏かのお話し体験でも色々不思議きいたり、また人のせわどりなども人としても、安心できるかたです。また吉野へは、毎月一回同参をなさっております。

なに事も真剣に取り組む人です。

神様え想いが、届いたのです。

私も嬉しかった。

天満宮にて得度が初まる 20 分前にち導きの御狐様へ挨拶に、ゆきたいので宜しいですかと言われたので私は、今費方が今いけば皆んなもいくので、今はダメですというと、いつも私しと、いっしょなので、ハイわかりましたとの返事。すぐに満月に携帯カメラのシャッターお切っております。

御日携帯をみてほしいと私の所へ、こられました。御狐様に通じたのか画面が真っ白のや中に目鼻足と写っていました。

満月がうったしたのに長い道のり神仏をほじ、今日この日まで神様によりそって、きた本人に

神様がよく頑張ったねと

神様はいつも貴方といいますと、携帯に写っていたのですね

本当に二十年という神への想い、また政子さん自身も、神様 仏様と心は変わっておりません

子供も小さい頃より親子で手をあわせております。どれほど嬉しかったか

これから先親子で手を合わせるでしょう。

後で本人の体験談として語ってくれます。

満月と病気と携帯→現代 簡単邪霊

病気とは、色々は事、人生の邪感なものです。

年をとったら、おの事 幼子 若い方と生きたいのに見れない寿命 祈る事

神に縋る今これを書きながら皆なに、これが、このやり方が、あてはまるとは、限りませんが、私しか、今、現在の荷物が、神様とのコンタクト、それが携帯なのです。

真達の想いが、心の内を通りすぎました。第三作目の本のなかに、私しも体験しましたと、かかせて綴り致しました。満月と獅子に乗る神様、私は西暦二〇三三年十二月二十三日私しは助かりました現代の世の中に携帯の光と電波が空を、まひみんなの家々をみまゆりしてくへている神様に届くのですね 皆様に嵌とは限りませんが私しは信じる・信じないは、自分自身一度はなさってはどうか

ある女性は娘さんの病気のために毎月の満月にはかかさないで頑張っておられます。

御蔭様で病気の再発はなさそうです。もう四年です。

三日間の満月に一度でもいいです

なさってください 携帯に病気人、気になる人の顔をうつりる方を満月に向かって、向けてください 、何分でもいいです

十二時、まわってからきつと、氏神、狛犬様かがきつと貴方の携帯の光をみつけてくれます。

信じて一度試してみませんか

今回これを、かいたのは、助かった人やいるからです。それなら、今こまっている方が自分出来る、邪気邪霊、悪霊など目に見えない物を人に頼る事なく、お金もいらない良い方向へとみちひいて致します。

簡単邪霊です。

西暦 2023 年 亡き人の想い

令和 5 年 6 月 27 日 岡本逸郎

誰の声 6 月 24 日

夜中の 2 時頃

オイーオイーオイと声がし、私はいったいこんな夜中に誰れが呼ぶのかと 2 階で寝いる 主人かなと 2 階をみると静かで電気も、消え物音ひとつ開きません

私は少し椅子に座り少し目を覚まし

ああそうだ夜中の星をみようと思えば裏のドアを開け、夜空の星を暫く眺めて今の男の人の声は誰れなのかと、頭から離れませんでした、日にちが経つといつの間にか忘れるのです

それが今年の十二月私達の仲人して致いた方が亡くなったと聞きああそうなんだ、懐かしい、男の人の声がしたんだ 私達、夫婦に会いにきてくれたのだ。

亡くなる、二年前より 施設に入りあえていませんでした。姿こそ見えませんでしたが、コロナもありでも声は心に残っております。

晩年は淋しかったと思います。

施設に入る前の日には、電話くれ、元気になっているかと、心配してくれ 自分の事は何ひとついわず、絶望にはいつてしまいました。人はもなく前には、自分が思う人の所へ会いに、ゆくのです

自分の寿命が尽きた時出来るかな会ったら聞かないで伝えない

ありがとうあいにきてくれて

令和五年 一月二日 夢

五つ頭の黒龍様と牛頭天王、光り輝く黒い毛暗い中 地の底を這うの様な、唸り声私しは

その声の方へと、目を向けると、牛頭天王

目が合いました それは、なんともいえない威厳をもった 地獄の番人 牛の形をした牛頭天王

目は、真赤色、まわりは銀色

私しは、なにかを、聞くと、声を掛けたのですが、なんと掛けたらいいか、思う、いなや私の方を、振りむき、私の目を、じいっとみつめ何を伝えたかったのかわからぬ、ままに、目がさめました

今年私しの人助けを、頑張なさいと、いわれのか、この一年、私しにとっては、色々人の出会また、地獄の番人として、この世の中の事をみている。

黒龍様牛頭天王様に感謝です。

西暦 2023 令和 5 年 11 月 28 日

神様が知らせてくれる

人との別れ 鯖の味噌煮

義母との別れ 私達は早く 義母が施設にはいりました 俗にいう嫁と姑との事です。

自分が姑との年になり初めて、わかること 姑 小姑 小姑との主人と初めての経験でした。

男兄弟で育った、私しには戸惑う事ばかりでした。

人は耐えるか事が出来る事が、私しには辛い事でした。実家の母には何もいえませんでした。

そんな、いろいろな事があり家のある、仏様の、こはんだけはいっしょうけんめい努めだけは、経始して、かかさず

乙女致いて、おりました。そして、やっと、お不動産の元へ日参させて致きました。

自分の心のとおり願いどうりいっしんに祈りました。

そして、目参させて致してる 0 才の時、神様に、あい心の底より涙がととなく沸き出ます

魂の神へ

優じる事をお教へてくれた

御不動様 魂の神様が 私の魂しいを助けてくれた

話しは少しそれましたが

今世の今があるのは、義母が神様にいかせる為の因縁なのでしょうね。

普通の主婦なら神様に、手を会わせたかな、

神仏に手を合わせる事を 姑を使って業をさせてくれたのですね

鯖の味噌煮が 夜中の 2 時頃 いい匂がしてきました

私しはその匂いで起きました

こんな、夜中に隣りさんかなと思いましたが、なんの匂いも、なく 静かです。暫くハットに腰を掛け 考へて おりました。

義理の母が、嫁いできた時よく炊いてくれた事を思い出しました 鯖の味噌煮が大好きな事 それから 三日後に亡くなりました。

若衰で 101 才です。苦しまず 眠るように亡くなりました。

もっと早く、私しもとおもいますが、最後に会えた事忘れません。

紫色に 藤の色 梅の花 天神様

痛気を、教える 神よりの使者

去年、令和六年 元日初夢

その夢は、顔は、わからないし、誰か、わからなが、心の中では、主人かなと不安でした

その夢は、寝いる、布団のうえに、美しい

花束、献花が、胸にのせて、裏口から、私しに、背中を向けて私しは、その梅の花の着物をきた、老婆に、後ろから、大声で、怒鳴って、おりました。

ここを、何処と、おもっている。

神仙、八百八神、お不動様、龍神様のおうれる家に、なにを、しにきれかと怒鳴っていました。けれども、なんともいえぬ紫色の着物、五文の、藤の、梅の花柄を着た人は、スーと出てゆきました。

まもなく夢から、目が、覚めましたが、後味の、わるい また、きになる夢でも、ありました。

けれども、人は、いつかその夢の事すらわすれていました。また、四十九日も、心の中で消えていました。

でも、その答えは、お盆が、終わった後にきました。やはり心配していた、主人しでした

元々、主人は、病氣、もっていましたし病院には定期的に、通って、おりましたし氣にも、とめてもいませんでしたけれども、夢の中での人は 主人だったのです。

寝る、主人の胸のけ献花は、また、あの若婆は、梅の花、私しは、はっとしました

夜中の得度を、させて致している 天神様 でした

私しに知らせに、きてくれたのです。

私しが気がめない。天神様が知らせて、くれたのです。

後日、もっと、びっくりなことあり、神様を、させて、致いて、よかった

ここまで、助けて効いて、主人は、体重が落ちて、ゆく事が氣になり、私しも、きになりましたが、神に祈りました都島病院へ 検査検査と辛いとなもいますが根が強い人なので、安心しておりました。

ここで、四十九日の事を 書かせて致します。

私しは、毎月、来て致している、お寺さんに恥を偲んで、自分の胸の内を、お話させて 致しました

お寺さんは、笑いなめら、心よく、日にかきまるまで、私しが、仏様を子守させて致しますと、心より、ひきろけてき致しました。

だいぶ、遅れましたが、姑とえの四十九日が、出きました。こんな、氣持ならおなむく、ちせんと供養しとけば、よかったと、姑に、あやまりました。胸の、つかれがとれた、みたいでした それが、九月でした

それから検検査つづきの、主人の結果が、出ました。

膀胱癌でした 神様は、これを、お知らせしてくみたのです。

でも、九月に姑の供養は終わったので、これは主人と、私しの、試練なのですネ

私も 主人も 悔いはないです

相談者 主人の事思うと、つらい

これから先、私しが いままで、してき事 自分の 主人と、おもわないで、他人と思い 私しに、相談に、こられた方と、心に決めました。ところが楽になりました。

まず、これからする事 令和六年 18 日 得度です

この日に主人の事も 満月 また天満宮での様式にて、託す事しました

相談者の方に対してり事なら、精神誠意込めて、出来るのに、我が、主人の事を願うのは、初めてのことでしたので、けれども、手が、ふるえて、きました

神は、これを、みしてくれるのかな 私しをみているかなと、お月様に、願いを、また、主人が写っている、スマホを、かざしました。また、天神様へ神様の使者、へのお礼いを伝えました。

時間が、きたので天満宮を後にしました。

小さな夢

今は亡き姑への思いと

四十九日への後悔

去年の十一月に亡くなった姑、長い間の闘病生活でした。原因は、世間によくある、嫁姑でした。

私しが、とめても病院えと、逃げてゆきました。五十一才より、百一才まで殆ど病院でした。

姑えの許す気持がなかなか、神仏に手を合せていても消えませんでした。

今これを書くのは皆様も、これを読んで何か感じて致いてほしい、心の失敗嫁姑

四十九の事です。亡き人にとっては、大切な事です。私ひしは、邪しな、心が、できたのでしょうか。

嫁いできた、日より、意地悪された事が、走馬灯のように、浮かんできました。姑えの、自分の、最後の抵抗でした

四十九日を、飛ばす、自分が、いたのです。また、飛ばしたのです。

けれども、心の中では、自分は、長い間、耐えてきれのたからと、自分に、言い聞かせてきました。

日にちが忘れさせてくれました

これが、後になっての、後悔です。

こんなはずでは、なかった、ちゃんと、しとけばよかった

追伸

令和七年 二月初めの夢

私しが、上の方へ、声をかけていました

それは、亡った義理の母の声でした

私しは、お母さん いく所は 決まったのですかと、声をかけると、未だ決めていないし迷っているとのこと、私しは

右にいくと暗いし、左の方へ、いったほうが、たくさんの花が咲いているしというと、じゃあそうさせて致しはと、スー

といってしまった。良かった。いくところえ、いったのですね。心より、安心しました。、後日お墓へ

挨拶にゆきました 一年かかりましたが胸が、うくになりました。

小さな夢の中の心の格闘

姑への許す気持がなかなか

神仏に手を合けていても消えませんでした。

小を夢の中には 後になりましたが

49 日と言う亡き人にとっては大切な事です。

私しは邪しな心がでてきたのでしょうか

嫁いできた日より、意地悪された事が走馬灯のように浮かんできました。

姑とへの自分の最後の抵抗でした

49 日を飛ばす自分がいたのです。

けれども心の中では自々は長い間

自分は耐えてきたのだからと思いながら、日にちが忘れさせてしれました。

ところがその事があけ 令和六年の元旦の夢の中で神様が知らせてくれたのです。

次は主人でした

けれども、それも夢だと自分で終らせていました。ところが、その年のお盆で終った 8 月 20 頃より主人が体調が悪くなり、その時ハット心の中で 49 日の事は心に残っておりました。

いつも月参りにこられる、お寺さんに、正直に 49 日の事を話しをしました

お寺さんはよく遅れたけれども私しか、仏様のし子守を予きをこの外でし応お経をあげるまでみて致きました。

そして仏壇に前にて私しは

懺悔と後悔の念で心が苦しかった

1 応供養も終り

令和 7 年 2 月に花のいっぱいある所へとゆきました ホーとした

満月と熱心な行者様」

西暦二十四年

今日は、満月の日です。その中の、一人の男性の方の、お話を、少しさせて致します
その方は塾の先生です。生れは奈良の吉野日夜 神様、仏様、と神社お寺で行をはさ
ってからいますお仕事しなかう、もっと神様の事を知りたいと私の所くは、これま
たのを々な車を、おぶしさまや

私しに、色々、神様の事を導ゆられます神様は姿は見えません私しはその人に、神様は、何をもとめているめを、
しっかり

神様に開いてくださいと伝えました形ではなく、頭の勉強だけでは、タメなのです、何年かかろうが、入りため、やり
ためと願いうなら、また人郎、させてくださいと、

祈ったのなう神の混もみえる自分の行のためなら、それは、それでいいと思うが次はみせてもらえないけれども、
私しに自わかりませんが、みたいりなら、夜中の適用に、いまませんか、昔を刈けきした、この人は夜中の得後
は、度受けて、いるので、し道は夜中のさ二に、いくと、このあ

は先に、みえうれていました色々な神様

仏様と採撈にまわっていたとの幸この時

をみせて数えました、きつとなめぬれの

夢である神様降選、して数たら、いいなと思いました

この人の夢やめなえられたら、いいなと思い
ました

満月は、出てきは構れてまれ出きては

揺れていましたきつとこの得度間でほう

ひですネ、この沼込はいっしょうけんめい

祝詞あけてる姿をみなら食山行を

後にしました。

生霊との戦い

生理の想いとみ女大海

私の所へは、色々な。人達が、こうれます

直々な想いを込めて、一瞬明神様私しにと伝えようと、おもって、おられます

今やら私しか、石切へ占いの、本店を出した頃車もう三五年位にあります、その頃

れしもまだ、一人で、遊戯三十三不部をまめ

り出した頃です、その頃ず石切でのお客様の船分とくられます。その頃には私も言て

てくれ先生により、お不勤様、龍神接と

鎮座されて、おられますその頃にこられて

いた方のお説しをさせて教きます彼名

K*とさせて教きますその方は神仏の事のお話しは、熱心に聞めれ、とんなに遅い時間でも、神様の元え、こうれました。

その頃は吉野麗天鮮へと本学されていました

ある日の車私しは、その人の国線を解く事となり、神祥はその女性の、前生も、おしえてくれましたそゆら、週間も、しない位その女性の人生が変りました。

仕事いくにもお屋めありませんでした★

神様り言う通りご目録通りそり出するお

てしたからです。お屋も、はいり、品物も

売れたら人は忘れるのですネ優天たつれ

頭の事されまりてしょうめそれまで、神仏の行できていたために、夜中であろうと、一人てあの少遊を、いつていたのが、その間にある方との故録やあり、結婚しました。

け山 y も、いままでと何か性格が変わったようは気やしました、御主人とは、お参りもい。

ているのですが、観光気合にみえて、しゃれありませんでした、神様、仙能といっていま

ちゃれしは、磯でした、神様の所えは、

こられますが私しのり w 歳ていくのがまれ皆さんとは疎遠になりけれども十八年も、私の所で神仏の勉強してきましれそうこうしている間に、その女継り細人の

あったのか、神の元をありましれ。

歌しはこ M も納持りなめるわきで神様は嘘をつくのが、きろいです

そして生理との戦いです

れしの云門の横には、小さな詞やあります今日は勉強会です、人もきます。子度れしや家り前の細をみていと、その女油や手をだめていました、初めて振り改えきれときの

洋服です。私しはおもめず、私しま、やもわずなにしにきたのかと罵声をやけていまし

女、横にいた友人も、ビックリして、私しは何放きたのかというと、友人は彼女ではないですと、入ってき人は違う人でした。けのと

れてきた人です。この彼女についてきたりで

す。あれほと時明にみ日子のかと、ビック

りました。そして彼女女生重と多り、訛りてきれのです、けれどもいこう彼女に熱いても、どうにも、なりません、財産家、お昼すべて人の物、後から乗人の物でもない」今世は、うまくいっても自分子供務にてる事、忘れないで、

No 不恩送を香り

Date 神様一筋 15 年

七ね#いしや

コンビー

勤務

この絶古い方です。神様一筋です。

神様の故縁で私の所へ話しをしている内で

夢の中で私しと会った事を読してくれました

グリンの色の階段も長い上には

祠かあり同じ夢 3 回

池の内には艶のある里龍様、と暫しいて、

神様との出会い毎日毎日

神様の不思議

木花咲耶姫のラベンダー香り

八若宮八幡宮甘い綿菓るの香り

と小さな不思議を神様より致いており

まず、今は幸せと、15 年、神一筋=れから先も

おろと神様私達といっしやでる

いかさんと

2 月 3 日 今年額の初め神様がいっしょに新しの所へころれまして

木咲耶姫様の県の奥までの香りのラベンター

誰れにもわめらない本人もわからないもんきさんは

真面目なる神一わせです。

いつもいっしょです神人に私しに聞きていれています

(3

小国神社

親るの同線と洗会い

令和 6 年 4 月 420 今日は、本当に、よき来気です

ほんの少数の方達とお参りさせて数きましひ

私しいもの通りでて待っていると

私の横にいちやっぴ親子通れで小学生の男の子か携帯を、さわっている私しるニコニコしながら、新しに声をかたしれ

お母さんが機でこここと年のしなう、30 才位かな

そのるは・私んな笑うと私の側にまて、私しに声をかけてくれるのです★、あまりがわかりませんでした★

私んに抱きついてきて私の赤い髪をさわり

ニマニコしています、

私しは初めて、あっぴ男るを抱しめていまひ

おもいきり。

このこの中の現しいが何かを私しに

訴えてきているのかと思うとにかうお母さんによく頑張っていますねと声をかけていました

お母さんもその息るさんかいとおしいのでしろうる

普通の子供と違う自分のる供に絶望を感じ

なからも目でよう自分の息子は心の中てエールを送りました

No.

Date

メンバし普通に生ま神球はなど

試練をあなえるのかと、

いつもお教へてをれし

因縁なのですが幸子の

もつと親るとお話ししたねったのですが

神様が私しに、あなえたのですネ何か足が痛い

腫が痛い任あの子供の事を思うとまれ

す母さんの車お思うと涙かれてきまし

一瞬の出会いてしん

その後の道中の不に議

豊川口根店塩天重達を苦いそてしれん
 三州豊川関一宮
 小国神社より、辛いる州理 1 階までの間
 私んはききほと親子の車を考へながら
 神様は伺故公事にはされないのですが
 と心て開えてみまひなにの政車もありませし
 心の内はモやもやひしれか
 10 斤位表るた頃みと
 車より窓の外をみると妻のお狐様の強な
 めておりますまんしは次が割り稲荷神社
 でしたきつとれいな。先ほどの親るときなつて事を
 しみとつてしなうりお親をみせてくれたのですネ。
 少し涙かれて生まれ足が痛い幅や満位なんの
 あの男の母親の心の内を思う酒が湯かって
 これっているのに頭で考へてしまう
 そんな思いの内でお祈様は私しの心の内を読みとり
 泣いている暇はありません。とみかで致いてのかな。
 淋り心の内装けるならおも自、
 30 伝いて空い稲間に到着しまれ。
 すぐに 12 時の鐘いなりれしれその者は
 4K 先まで聞える様です。
 種の者を、聞きいていると隣りで阪本さんか先生
 空をみてとって本学の先上に七海
 No
 Date
 金の音をいつしように先の色とともだ
 大しなて、ゆきまれ
 1「いいく冷めきている人をまれ迎え。
 稲してくれている様です*た気かしん
 気でかな人き々です、
 お独様の顔など
 お今りにした人への神様の御優美
 だつてのでしょうか、
 また幸く色々な事は次々とおこり
 けれどもそれもまた勉強です私と名自
 心で思いや家路へと

Date道案内の星西暦 2024 2 月 24 日

私し事なのですが無性生に
 熊野の方へゆきくなり・
 友達に頼んで連れて行って教きましん
 いつも青常渡寺にゆく時には、
 大風の終です、けれとも広いた、
 の思いか大阪大風を怖くもなく
 ゆく時には神様がいつもいっしみに
 いってくれると信じております青岸渡寺に
 徳野大社につくころには
 雨もこぶりになりお参りも出来ます、
 友達は納経帳をして致けな事に
 幸んでおりました。私しは少し足が悪いので
 車の内にて(怒局)様に皆んなお
 連してきましたと、車の中より熊野大社
 八処島様に心の内でまますと
 伝へ、人の無が習めへと足を運び
 ました元気な時は道賃、傾いもの借りも

身体の幸足の幸も考すに、使っておりましけれどもそのおかげで色々な神ん霊場を、
 まゆるがれ樂まして。

今告されとゆく日が今まで神れの勉発にきている友に連れていってもうっています。

いいですネと心で感期です

そんな来を想い那山飛様と良いにきれ

蒸してみせて致い、時この世の今この近れにそんなはずはないとこんな思いで第一番札所

如意輪観音様を歩かなて致いて時の事

行としては初めて会う観音様小さい時より何も者へずに

今にしてへは九州島より安の好がくると

祖母は高野山の他大師様に小さいれしは

皆んなとゆくもな焼しかつひのおほえでいます。

(四国)

数年たって母か祖母の話を聞いて愛媛県松め

有り難い

16

Date

お金と商売

神様を利用するしい

私し達の所には、女の人の集まる所なので、

漢言葉化粧品また服などを

とき々です

私しは常売らない様に伝えます。

けれども宛かしすれ神様のもとえば

きませ。神より本会そおいてよかは

逆にみなさるのです神様は大事にてならぬ肉に出してくださいまる

信じて永い間新しのもに、きてまられる方も

土食でした私は、神達と信じておりました

人柄は明る私達も店によくゆきましん

又服も買おの所の人よかっていました。

けれども神はれさせます

パートで働いて神のもとにするひとに服

借金さてていました買う人も悪けれど

お同神様にきている人に借金

人回人でお金を借り破店をふっかける

No.

Date

借金した人は私しの所に 6 人それも毎月

支払っても残定が残っている

私しは 1~2 部その人に本を託し申しんか

1 円も私しには食は入りませんでしたく

皆んなと相談して裁判をする事になり

祖きも弁護士を頼んだ様です。

神様は隠れているものを表てに出してしれまれ

内容証明が相手者かう風き目をとるど

嘘はかり、相手の弁護をは

メタ特です。何ひとつ本当の幸せないかう

私に渡しれと言うお金の領収書もなく、

また別で服入の訴える来なりましれ 精求害となく

仏閣と言なから陰では色々な人にも

同幸していたのでしょう神様のみしる

(

No.

Date

でるだから神社にお酒*を供えもの

をしても伺うの方からはしまでみえています。

1 度も新¥)所へはきませんでした(4 回)

17 年と言う年月色々事もありましね

私の喜いた本は私が現作者と車がわかり

著作者ひあり裁判には勝まれ

神様はいく心から冷かけても心の内までみておられる事まいしはいい経験とその方が

悪いと思うまで神は許すでしょうか

同じ様に苦しい時お金に困ればお金を使いはるなど品物も買ってもうっても、そんな人に

なおもつされた事を泊する事祈ります。

神様りお教えてくれたお金と

前走の裏表→人の

食和れ 5 年西暦 2023 年 9 月 3 日.

Date

(

電より満料や前)

出雲大社での思い出、

夜中の 1 時頃パーキングで休憩していた時.

超まの新田取るさんが本月★満内であり

お様小の前に出ていましたと私して塩しそうに読をしてくれまして、聞いている私も子供を赤ちゃんの

ほかう親兄洋達にみてもらいなから、

神様一節に生きています男のこも今大学生と設なり

勤のハイトを、しなから、親子仲よくうしています。

姉のききかり今日ベンバっています。

初の四国ハナハケ所をままいりしていた時は幼稚園に

中になろう★朝しなろうが靴といっしょにはむないのに

朝様が養美を

四国ハナハイ所を、歩いて

くれんですネ

戦る 2 人で今も勉強です。

新年満別の得度にキャリアーとして美をみせてもらっています

目の不運思議

満月に写る狐様

和田政子

お狐様に、あこれれ二十年・

今から、二十年前に先生と出会い神様へお参りする様になりました。私の兄が大変な状況となり母が息子を何とかしたい想いで紹介して頂きました。先生より兄の前世の因縁でありその事を懺悔するという内容でした

私

は聞いた時はじられないお話でしたが先生より、「私は神様に教えて頂いたお言葉を伝えているだけですやるのは自分です信じてやりければ大難が小難・無難になります

す」そのお言葉が胸に刺さり毎日神社に行き

懺悔しました。それを機に先生、姉夫婦

妹息子友人達と四国ハナハ、辻畿三十

大不動摂津ハナハン西国観音三十三、神仏

百五十等お参りしていますそしてこのコミ

十月二十八日、満月吉野天満宮得度の日

つもの二十四時始まる追の時に先生に「お

格荷様へ挨拶に行っていていいですかと聞くと今日は人が多いからやめときと言われ「はい」と透事しましたそして始まる迄。美しい

満月と星の写真を撮り皆で感動し喜んでました。得度が終わり帰りの車で写真を見たら、十枚の内の一枚が白ぼく映って先生に見て頂くと「お狐様やね」あの時挨拶に行かなくても倍に居てるとお姿を見せて頂けましたね。

「良かったね」いつもお稲荷様へお参りしてるから教えて頂けた。後日のお勉強会の時「春高大明神様より、十八年でやっと通じたとお言葉を頂いた時は、本当にうれしく涙あふれる思いでした

1 二・二四三月二ナ七旦、

命を繋いで頂きたい女性の得度にお手伝いで参加した時に、天満宮様の満月の美しさに思わず写真を撮りシャッターを押す時に前を白小物がふわっと通り、「えー今の何やろー」と後で先生に見て頂くと「お狐様ですね」

今日のご褒美やね

、良かったね。少しずつ見

せて頂けるようになるよ。自分見たものは目をもって人に話せるでしょ。これからお稲荷様のお姿を心に毎日がんばっていきますと教えて頂きました。

これからも神様のお

安を見せて頂けます事を願いながら、神仏のお参りを続けて行きます。

「どうか私の子宮が残せますように」と願ひ神様にお願いをしました。

手術・退院を終え、病理検査の結果を聞く、

受診の日が来ました。

希望と不中が友誼す 3 中

医師から「リンパに転移していません」と。

私は携して嬉しくて源があふれました。

ステージ 3 からステージになるという離が起きたのです。

2 回目のがん腫瘍を切除する手術も成功し、

現在再発はなく、治い直いで神様に助けて頂いています。

病気になったことは遠回りでしたが、神様の存在を強く感じ、生き方が変わりました。

私の事を思っ助けて下さった天美先生、仲間の皆さん、そして何より神様に感謝を忘れず今を生きています。

中川周力にもはた煮無いとやで、野気

谷口真代

私は子宮頭がんになりました。

病気になってからご縁をいただき、大美先生と出会えい

神様に前世を説いて下さりました。

その時の私は病院の検査で骨盤リンパ節に転移があり、ステージⅢでした。

子宮も残せないと診断されていましたが、前世を説いて下さってから

新しい病彼が見つかり、良い先生と巡り会えました。

それから同じ月に得度を受けました。

受けてすぐに医師から子宮を残せるか、先にリンパ節を調べないかと提案があり、私は覚悟を決めて手術を受け入れました。

入院するまでは教えて頂いた吉田神宮へご所福をお願いし、氏神様に毎日お参りしい

N

今年夕年 3 月し々

満月つ好きの月もる日でもある

3 月活用は今和 6 年よりゆく幸にしまし

それはある好きのそよりです

体験に後で本人をししないでそうなん

いつものとおり、皆んなで楽しまるで車の内でも

注品の様です.

年に 2 度ほど天満宮での得意です。

そお楽しみに行単に目々励んでいます.

先した家を出る時神様にすこしでも不思議をみせて越しなさいと祈り家をれます.

吉野脳天大神様への挨拶”えと

むかいもう満月は国の前にて.

過へにきてくれていましたよかった

去年、その女の元気な姿に神は美んでいてくれ込みです。

んその足で上の神様

心が学んでいましれ

金峯山魚蔵王権現

hu 様へと

久しぶりの

もう月は目の前の空にて待っていてくれるん

お月様め回りには、オ 24 巻の転用です.

まるで月光害薩様中雲にのって・おられる

お姿です。得度初まる 26~35 でいままでなかった電や流れて

きまして、その雲の

中にいうしてるお月様が受院罪に

絵描かれている日もほさっさまにみえ

また、ありやひい.

そして、12 時に時間になり、1 人 1 人に天満宮にての人込みです。

いている時は、たとにお月下がきていれてます。

釣って天満宮れるとその所にお月ね

それぞれ皆さまは、写真をとっていました

適用でお月様を薄じて、カー不思議ですネ

まるで何定ほさってれ電の内にて記しは

こてにいてますと揺れてみせでしたのですね
私達はいつも違う・形まな神持も色々な
★姿を出してくれます無事に5人の得度も終り
来た人20人も皆んなみせてきました
また海所を助けて強い彼女も多いてまいでし
れてしょう。神の助けがなければ今この満月は、
おれなかまれ彼女が写した写真は、3回とも部か
母を行ってよります・大峰出金龍様が
福の中よりれてきてくれるのでしょうこのこの為に
また大んな。それぞれの思いを胸に税め
ひろ
帰とにつきました
途
うちゆの神々
＜月光(子の様にのってきていれん)
今度6¥10～いにゆきます
47

中生めて姉妹で御大師様信仰
麵心におまつりしてした様です
祖父はいつも朝に夜にいつも神棚に
きを合がている姿は今でも
頭の中より消ません
祖祖母佰母のおかげです、
佰母が好いな先は宮崎
神降臨高ちほです。
目でみえない神仏のか、私しかたあるのは
先祖のおかげ、何もわかつてはいませんが
神様のネ議は多くみせて税きまいた
このページは信じたらそ々な事が
みれてもをやるいつも緒にいてしみて
いる事を、しってはいから
長々と次の那智めへと